

2023年 4月 2日 《受難週礼拝・誕生祝福式》

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 祷 ②村山けい子姉

賛 美 聖歌157番 ～両手いっぱいのお愛～

パウロの祈り①

聖書朗読 マルコによる福音書12章1～12節

特別賛美 アサリオン（高野夫妻）

メッセージ 「愛の土台石となられたキリスト」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌402番 ～明日はどんな日か～

祝 祷

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 賛美 「イエス様は私たちの道」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★今週は受難週です。金曜日はキリストの受難日です。主のご愛を思い出しましょう！

☆本日午後1時～、「聖書の学び会」を行います。（高石兄/ヤコブ3章）

★今週の祈り会：○早天祈禱会、明朝6時。 ◎木曜祈禱会：①午前10時半
（大和祈禱会ライブ映像）。 ②夜7時半。 ○準備祈禱会：土曜夜8時。

☆来週はイースター（復活祭）礼拝。（司会：白川達男兄／祈禱：石井秀人兄）

12時半より納骨堂前にて「春の納骨式及び召天者記念礼拝」が行われます。

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [4/2-9]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	マルコ 8-9	10-11	12-13	14	15-16			
新約						士師記 1-3	4-5	6-7
チェック	〇〇	〇〇	〇〇	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇

「愛の土台石となられたキリスト」

～世界でリバイバルが起り始めている～

「旧約聖書の詩篇に記されているように、『この方こそ、あなたがた家を建てる者たちによって捨てられた石であって、隅の頭石(かしらいし)となった石』なのです。この方以外に救いはありません。私たちを救うことのできる方は、この方以外には、神様がお与えになりませんでした。」
使徒行伝4章11・12節〔現代訳聖書〕

神様から約束の地をいただいたイスラエルの民でしたが、やがて、神様のお心から離れて自分勝手な道に進んで行きました。そして、最後に、一人息子であるイエス様までも、十字架にかけて殺してしまいました。そして、最終的にイスラエルはAD70年に国をローマによって滅ぼされて、完全に滅亡してしまいました。

しかし、近年、第二次世界大戦後、イスラエル共和国としてヘブライ国家が国際的に認められ、彼らの国が再建されました。この歴史的な出来事はとても終末的であり、再臨のメシアがやがてやってこられる大いなる備えとなっています。

イエス様は2000年前、カルバリの丘の上で十字架にかかられましたが、その出来事は、新しい霊の家が建て上げられるための信仰の礎石でもありました。人々から苦しめられ、捨てられたような状況でしたが、そのイエス様の死の代価の上に、次々と信仰の家が建て上げられていきました。この極東と言われる日本でも約8000の神の家である教会が建て上げられています。これは奇跡以外の何ものでもありません。ユダヤ人たちによって捨てられたがゆえに、主イエス様が全世界の救い主となったのです。そして、今度は、世界のクリスチャンたちを通して、ユダヤ人たちへの救いが成し遂げられているのです。今はその過程にあります。

先週の祈禱会では、森屋先生を通して、今世界でなされている神様の御業についてのレポートの紹介がありました。現在は、ラテンアメリカやアフリカでのリバイバルの影響によって、多くの宣教師たちが生み出され、その多くがヨーロッパへと導かれて、一度はパウロたちによって宣教されたヨーロッパでしたが、今は死んでいるような状況にある、そんなヨーロッパでリバイバルの火が各地で燃え始め始めているということでした。先日のアズベリー大学でのリバイバルも、その影響の一つであろうとされています。欧米の教会に新たな主の働きが始められている証拠であるということです。その流れが、この日本にも流されてきていることを信仰によって受け止める必要があるということでした。

主が十字架の愛によって土台石となってくださった、その上に私たちは立っています。主が土台であるからには、素晴らしい神の家が建て上げられていくことを信じることができます。今週は受難週。主が据えられた揺るがない信仰の土台を感謝して、その犠牲の上に私たちの人生が建て上げられていることを思い、感謝の祈りをお捧げしていきましょう！